

**平成25年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

平成24年11月26日

上場取引所 大

上場会社名 ウチダエスコ株式会社

コード番号 4699 URL <http://www.esco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 均

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 久保 博幸

TEL 047-382-4141

四半期報告書提出予定日 平成24年12月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第1四半期の連結業績(平成24年7月21日～平成24年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年7月期第1四半期	3,124	△0.2	251	51.9	256	52.3	148	65.0
24年7月期第1四半期	3,130	13.4	165	29.5	168	30.2	89	31.5

(注) 包括利益 25年7月期第1四半期 149百万円 (69.5%) 24年7月期第1四半期 88百万円 (31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第1四半期	41.30	—
24年7月期第1四半期	25.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
25年7月期第1四半期	7,808	3,148	40.3
24年7月期	7,909	3,052	38.6

(参考) 自己資本 25年7月期第1四半期 3,148百万円 24年7月期 3,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年7月期	—	—	—	—	—
25年7月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年7月21日～平成25年7月20日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	6,000	0.5	335	8.5	340	8.3	195	38.2	54.22
通期	12,400	1.6	710	19.1	720	18.1	430	44.3	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期1Q	3,600,000 株	24年7月期	3,600,000 株
25年7月期1Q	3,473 株	24年7月期	3,473 株
25年7月期1Q	3,596,527 株	24年7月期1Q	3,596,527 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題を背景に中国など主要新興国も含めた世界的な景気減速や円高の長期化などの要因により、輸出や生産が落ち込むなど低調な状況で推移しました。

このような環境下、当連結グループは第8次中期経営計画（平成22年8月～平成25年7月）の基本方針である「ITの技術変革への対応」、「マルチベンダーの推進」、「企業価値の増大」を推進することにより、事業規模の拡大・収益力の強化に努めています。

計画の最終年次に当る当連結会計年度においては、クラウドコンピューティングに対応するサーバーやデスクトップ等の仮想化案件への取り組み強化など、高付加価値技術戦略の推進による「第二のエンジン点火」、「サービス・サポート品質の向上」、「経営基盤の更なる強化」を重点施策に掲げ、その着実な達成に向けて取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、中核のフィールドサポート事業が堅調に推移し、また、オフィスシステム事業においても事業採算が改善した結果、売上高は31億2千4百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は2億5千1百万円（同51.9%増）、経常利益は2億5千6百万円（同52.3%増）、四半期純利益は1億4千8百万円（同65.0%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における事業別概況は次のとおりであります。

#### (フィールドサポート事業)

「量の拡大」（第一のエンジン）として、コンピュータメーカーやシステムインテグレーターへの営業を強化するとともに、更なる生産性の向上に取り組み、保守・ネットワーク構築案件の取扱量の拡大に努めています。また、「質の転換」（第二のエンジン）として、CE（カスタマーエンジニア）のSE化の推進並びにクラウドコンピューティング市場に対応できる仮想化技術者の増強をはかるとともに、仮想化案件の獲得に努めています。

当第1四半期連結累計期間の業績は、学校市場向けICT事業が堅調に推移するとともに、民間市場においてもコンピュータメーカーやシステムインテグレーターからの保守・ネットワーク・BPO案件の取扱いが増加した結果、売上高は20億6千2百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は3億円（同32.9%増）となりました。

#### (オフィスシステム事業)

「売上規模の拡大」として、きめ細かな販売促進活動による直接販売の強化、顧客ニーズに即したWebビジネス（Net2B）の推進による受注拡大に取り組んでいます。また、「横展開」として、オフィスシステムに加え、当社の有する様々なICT関連サービス&サポートを提供するワンストップの商談推進に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の業績は、首都圏におけるオフィス移転案件の増加及びOAサプライの取引採算が改善した結果、売上高は8億2千2百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は2千8百万円（同173.0%増）となりました。

## (ソフトウェアサポート事業)

「サポート品質の向上」として、見積精度の向上とプロジェクトマネジメントシステム（Promise）の運用を推し進めることにより、収益の改善に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間の業績は、受注活動の強化に努めましたが、前期の大型の市町村サポート案件の影響で期初の受注残が低調であったために、売上高は2億3千8百万円（前年同四半期比20.9%減）、営業損失7千7百万円（前年同四半期は営業損失7千1百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、78億8百万円と前連結会計年度末比1億円減少しました。これは流動資産が、受取手形の増加（7千6百万円）、繰延税金資産の増加（6千7百万円）等でしたが、現預金の減少（2億5千6百万円）、売掛金の減少（4千万円）等により8千3百万円減少し、固定資産が、1千6百万円減少したことによります。流動負債は、賞与引当金の増加（1億8千万円）等でしたが、支払手形の減少（1億7千1百万円）、買掛金の減少（1億6千4百万円）、短期借入金の減少（9千万円）等により前連結会計年度末比2億円減少し、固定負債は、3百万円増加しました。純資産は、31億4千8百万円と前連結会計年度末比9千6百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は、40.3%と前連結会計年度末比1.7ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績見通しは、平成24年8月31日付「平成24年7月期決算短信」にて公表しました数値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年7月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年10月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,821,230	2,564,621
受取手形及び売掛金	3,052,232	3,088,041
電子記録債権	—	17,858
商品	38,718	45,796
仕掛品	132,108	143,237
原材料及び貯蔵品	2,934	4,099
繰延税金資産	152,312	220,307
その他	57,736	89,521
貸倒引当金	△1,976	△2,129
流動資産合計	6,255,297	6,171,354
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	270,888	266,345
工具、器具及び備品（純額）	56,947	51,633
土地	737,854	737,854
有形固定資産合計	1,065,690	1,055,833
無形固定資産		
投資その他の資産	94,716	85,412
投資有価証券	59,410	61,937
敷金及び保証金	110,299	107,625
繰延税金資産	306,199	306,109
その他	23,795	26,269
貸倒引当金	△5,873	△5,822
投資その他の資産合計	493,831	496,118
固定資産合計	1,654,238	1,637,365
資産合計	7,909,535	7,808,720

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年10月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,404	1,309,750
短期借入金	310,000	220,000
未払金	168,162	148,394
未払費用	348,405	349,528
未払法人税等	110,015	174,367
前受金	1,005,205	1,032,792
賞与引当金	286,295	467,168
工事損失引当金	3,514	1,940
その他	100,271	72,830
流動負債合計	3,977,274	3,776,772
固定負債		
退職給付引当金	851,326	854,412
役員退職慰労引当金	17,943	18,615
長期未払金	10,252	10,252
負ののれん	325	244
固定負債合計	879,848	883,525
負債合計	4,857,122	4,660,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	334,000	334,000
資本剰余金	300,080	300,080
利益剰余金	2,422,050	2,516,624
自己株式	△1,303	△1,303
株主資本合計	3,054,827	3,149,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,414	△979
その他の包括利益累計額合計	△2,414	△979
純資産合計	3,052,413	3,148,422
負債純資産合計	7,909,535	7,808,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成23年10月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成24年10月20日)
売上高	3,130,378	3,124,140
売上原価	2,256,844	2,168,091
売上総利益	873,534	956,049
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,586	3,843
給料及び手当	300,964	303,257
賞与引当金繰入額	90,140	92,481
退職給付費用	29,957	23,670
役員退職慰労引当金繰入額	757	672
福利厚生費	27,339	29,319
賃借料	29,888	29,075
減価償却費	18,344	15,290
その他	206,900	206,819
販売費及び一般管理費合計	707,879	704,428
営業利益	165,654	251,620
営業外収益		
受取利息	43	56
受取配当金	1,250	2,649
受取手数料	1,127	1,759
受取保険金	831	154
負ののれん償却額	81	81
その他	456	1,481
営業外収益合計	3,791	6,182
営業外費用		
支払利息	727	706
その他	144	320
営業外費用合計	871	1,026
経常利益	168,575	256,777
特別損失		
固定資産除却損	48	22
特別損失合計	48	22
税金等調整前四半期純利益	168,527	256,754
法人税、住民税及び事業税	149,023	176,931
法人税等調整額	△70,488	△68,698
法人税等合計	78,534	108,232
少数株主損益調整前四半期純利益	89,992	148,522
四半期純利益	89,992	148,522



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月21日 至平成23年10月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月21日 至平成24年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,992	148,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,502	1,435
その他の包括利益合計	△1,502	1,435
四半期包括利益	88,489	149,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,489	149,957
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自平成24年7月21日 至平成24年10月20日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年7月21日 至平成23年10月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,996,644	831,802	301,931	3,130,378	—	3,130,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,662	2,988	39,757	112,408	△112,408	—
計	2,066,306	834,791	341,689	3,242,787	△112,408	3,130,378
セグメント利益又は損失(△)	226,211	10,610	△71,167	165,654	—	165,654

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありませぬ。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年7月21日 至平成24年10月20日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	フィールド サポート事業	オフィス システム事業	ソフトウェア サポート事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,062,361	822,802	238,976	3,124,140	—	3,124,140
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,387	1,976	35,381	83,745	△83,745	—
計	2,108,749	824,779	274,358	3,207,886	△83,745	3,124,140
セグメント利益又は損失(△)	300,539	28,964	△77,882	251,620	—	251,620

- (注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益の調整額はありませぬ。  
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自平成24年7月21日 至平成24年10月20日）

該当事項はありません。